

第5章 まとめ

第1節 事業者数

サービスマーク認定9業務を中心に、各業種ごとに①参入企業数（推計）、②業界団体加入者数、③サービスマーク認定数をまとめたものが下表である。

- ① 参入企業数： 現在当該業種に参入していると推計される企業数（または施設数）¹¹
 ② 業界団体加入者数： 各業種の代表団体の加入企業数（または施設数）¹²
 ③ サービスマーク認定数： 「医療関連サービスマーク」認定事業者数

図表 48 事業者数

業種	参入企業数 (推定)	業界団体	業界団体加入者数	サービスマーク 認定数 (2003.2.1現在)
医療関連サービスマーク認定9業務	在宅酸素供給装置保守点検	約 230 社	日本医療ガス協会	230 社
	滅菌消毒	約 40 施設	日本滅菌業協議会	37 施設 (16 事業者)
	寝具類洗濯	190 社	(社)日本病院寝具協会	220 事業所 (156 社)
	患者給食	360 社	(社)日本メディカル給食協会	185 社
	患者搬送	約 700 社		7 社
	院内清掃	約 1,300 社 ^{※1}	(社)全国ビルメンテナンス協会	(院内清掃を手がける事業者数は未調)
	医療用ガス供給設備保守点検	1,044 社	日本医療ガス協会	940 社
	検体検査	907 施設	(社)日本衛生検査所協会	443 施設
	医療機器保守点検		※2 (参考) 日本医療機器関係団体協議会	19 関連団体 画像医療システム: 144 社 医用電子機器: 約 550 社 医用機器: 218 社
その他	医療事務代行	40 社	全国医事振興協会	34 社
	医療廃棄物処理	収運: 約 6,000 社 中間: 約 300 社	(社)全国産業廃棄物連合会 (医療廃棄物部会)	約 70 社 (ADPP ^{※3} メンバー)
	患者食宅配	全国展開をしている企業 15～20 社	全国在宅配食サービス事業協議会	53 社
	調剤薬局	約 24,000 店		

※1) あくまでも推定であり、把握は困難。

※2) 保守点検のみの団体はなく、開発・販売など医療機器全体の関係団体がある（参考を参照）

※3) ADPP：医療廃棄物適正処理推進プログラム

¹¹ 業界関係者へのヒアリングをもとにした数字。

¹² 業界団体からの提供資料をもとにした数字。

第2節 市場規模

各業種ごとの市場規模は業界関係者からのヒアリングなどをもとに、下表のとおり推計される。

図表 49 市場規模（推計）

業種		現在の市場規模 (億円)
医療関連サービス マーク認定9業務	在宅酸素供給装置保守点検	650 (注1)
	滅菌消毒	110
	寝具類洗濯	1,400
	患者給食	4,700
	患者搬送	※
	院内清掃	800
	医療用ガス供給設備保守点検	※
	検体検査	5,000
	医療機器保守点検 (画像診断装置)	400
	医療事務代行	1,400
その他	医療廃棄物処理	数10
	患者食宅配	※

(注1) 在宅酸素供給装置保守点検については、保守点検および装置のレンタル代を含んだ数字である。

(注2) ※は推計できず

(出所) 各業界関係者ヒアリング、提供資料ならびに各種統計資料などをもとに日本総研推計。

第3節 外部委託率の現状

各業種ごとの外部委託率は医療関連サービス振興会「実態調査」によるもの、厚生労働省「医療施設」によるもの、あるいは業界団体（場合によっては業界有力企業）が独自に推計しているものがある。

業界推計値と振興会調査の値が異なるものとしては、「在宅酸素供給装置保守点検」「検体検査」があげられる。「在宅酸素供給装置保守点検」については振興会調査では「在宅酸素の処方をしている病院の割合」ととらえることができ、処方をしている病院では酸素供給装置を外部から賃貸することがほとんどであり、その際にガスの補充や保守点検もあわせて委託となるため、処方している医療機関のほとんどが外部委託をしていることになる。

「検体検査」については、振興会調査では1項目でも検査を出していれば「外注あり」との回答になるため、業界推計よりも高めとなっている。

図表 50 外部委託率

業種		外部委託率			
		医療関連サービス振興会調査 ¹³	医療関連サービス基本問題検討会調査 ¹⁴	厚生労働省調査 ¹⁵	業界推計 ¹⁶
医療関連サービスマーク認定9業務	在宅酸素供給装置保守点検	49.4% (但し在宅酸素の処方をしている病院の割合)			— (ほとんどすべて外注)
	滅菌消毒	17.0%	10.5%	13.2%	
	寝具類洗濯	98.5%	98.1%		88%
	患者給食	44.5%	38.2%	39.2%	43%
	患者搬送	7.3%	11.8%		
	院内清掃	79.8%	75.3%	75.6%	
	医療用ガス供給設備保守点検	75.6%	79.3%		— (ガスの補充自体はすべて外注)
	検体検査	95.7%	96.7%		総検査数の40～50%、 金額にして7割程度
その他	医療機器保守点検	69.8%	74.7%	84.3%	
	医療事務代行	39.0%			25.6%
	医療廃棄物処理	96.8%		96.4%	
	患者食宅配	0.5%			
	院内情報コンピュータシステム	27.9%			
	院内物品管理	7.7%			

¹³ 医療関連サービス振興会「2000年度 医療関連サービス実態調査報告書」

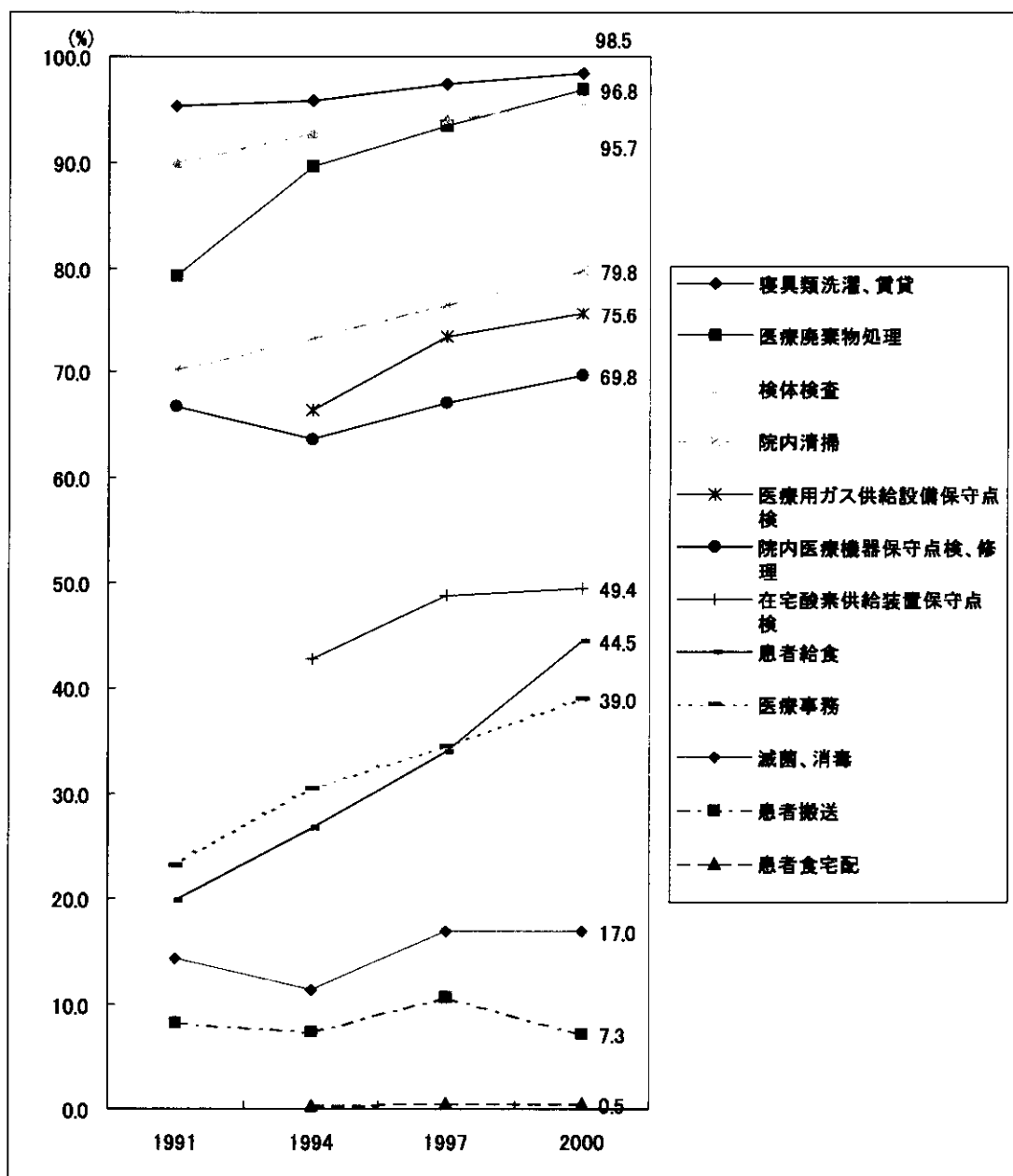
¹⁴ 医療関連サービス基本問題検討会 2000年8月「医療関連サービス委託実態調査報告書」

¹⁵ 厚生労働省「1999年 医療施設調査（動態・静態調査）」

¹⁶ 業界推計： 業界団体あるいは有力企業が独自に推計した数値

医療関連サービス振興会調査により外部委託率の推移をみると、寝具類洗濯・賃貸、医療廃棄物処理、検体検査については9割を超えており、市場としては成熟している。
急成長を見せているのは患者給食である。

図表 51外部委託率の推移



(注) 在宅酸素供給装置保守点検、医療用ガス供給設備保守点検については当該診療行為を算定している医療機関の割合であり、そのほとんどが外部委託を行っている。
(出所) 医療関連サービス振興会「医療関連サービス実態調査」

第4節 公開企業

医療関連サービスを主力業務としている企業の中で公開企業を業種ごとにまとめたのが下図である。市場規模の拡大とともに公開企業も増加している。とくに最近10年位の間に公開した成長企業が多い。

図表 52 主要な公開企業一覧

業種	企業名	本社所在地	上場・公開	公開の時期
医療関連サービスマーク認定9業務	在宅酸素供給装置 保守点検 ¹⁷	藤沢薬品工業㈱ フクダ電子㈱	大阪市 文京区 店頭	東証、大証、名証 1949年 1982年
	寝具類洗濯	㈱トーカイ	岐阜市	名証 1988年
	患者給食	日清医療食品㈱	千代田区	店頭 2001年
		シダックス㈱	新宿区	店頭 2001年
		エームサービス㈱	港区	東証 1996年
		㈱メフォス	千代田区	店頭 1995年
		ソデッソジャパン㈱	札幌市	店頭 1999年
		㈱グリーンハウス	新宿区	店頭 1991年
医療機器保守点検	医療用ガス供給設備 保守点検	エア・ウォーター㈱	大阪市	東証、大証、名証 1950年
		川重防災工業㈱	神戸市	東証、大証 1994年
		星医療酸器	足立区	店頭 2000年
		㈱セントラルユニ	北九州市	店頭 1995年
	検体検査	㈱エス・アール・エル	立川市	東証 1990年
		㈱ビー・エム・エル	渋谷区	東証 2001年
		㈱ファルコバイオシステムズ	京都市	大証 1997年
		㈱メデカジャパン	鴻巣市	店頭 1990年
		札幌臨床検査センター㈱	札幌市	店頭 1996年
その他	医療機器保守点検	(画像診断装置) ㈱日立メディコ	千代田区	東証 1991年
	医療事務代行	㈱ニチイ学館 ㈱日本医療事務センター	千代田区 千代田区	東証 東証 1999年 2002年

(注) 企業名は順不同。

¹⁷ 帝人株式会社については、在宅酸素供給装置保守点検を行っているのは帝人在宅医療株式会社グループで、未公開であるため、本表には掲載していない。

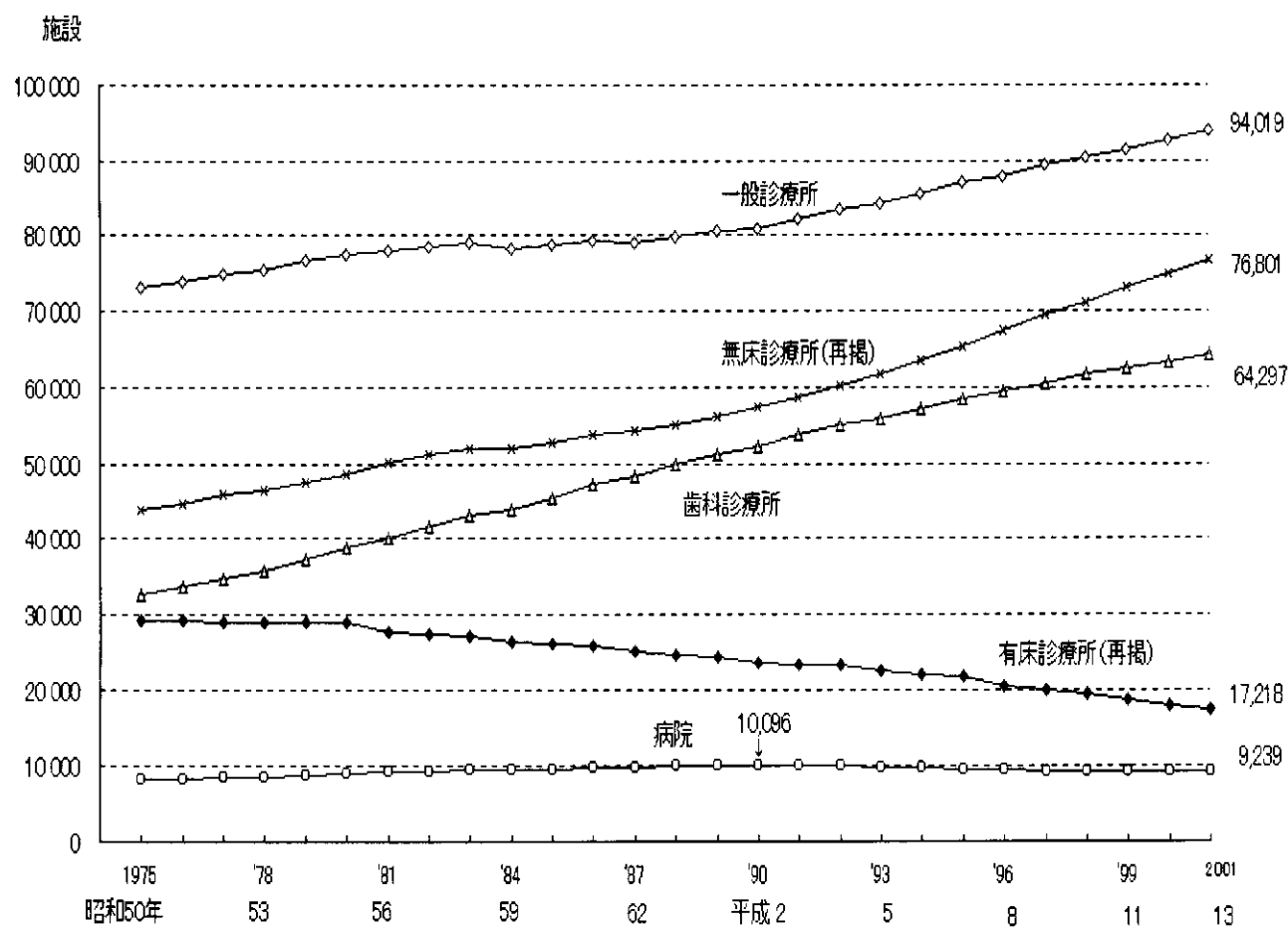
第5節 医療関連サービス市場の今後の展望

以上みてきた医療関連サービスについて、今後の市場動向を展望するにあたっては、①病院数・病床数の動向、②外部委託率の動向がいずれの業種にも共通の大きな変数となる。

そこで、まず、病院数や病床数について過去の推移をみると、下図のとおりである。病院数については、1990年をピークに漸減傾向にあり、1992年からは1万施設を割っている。一方、診療所が近年増加傾向にある。

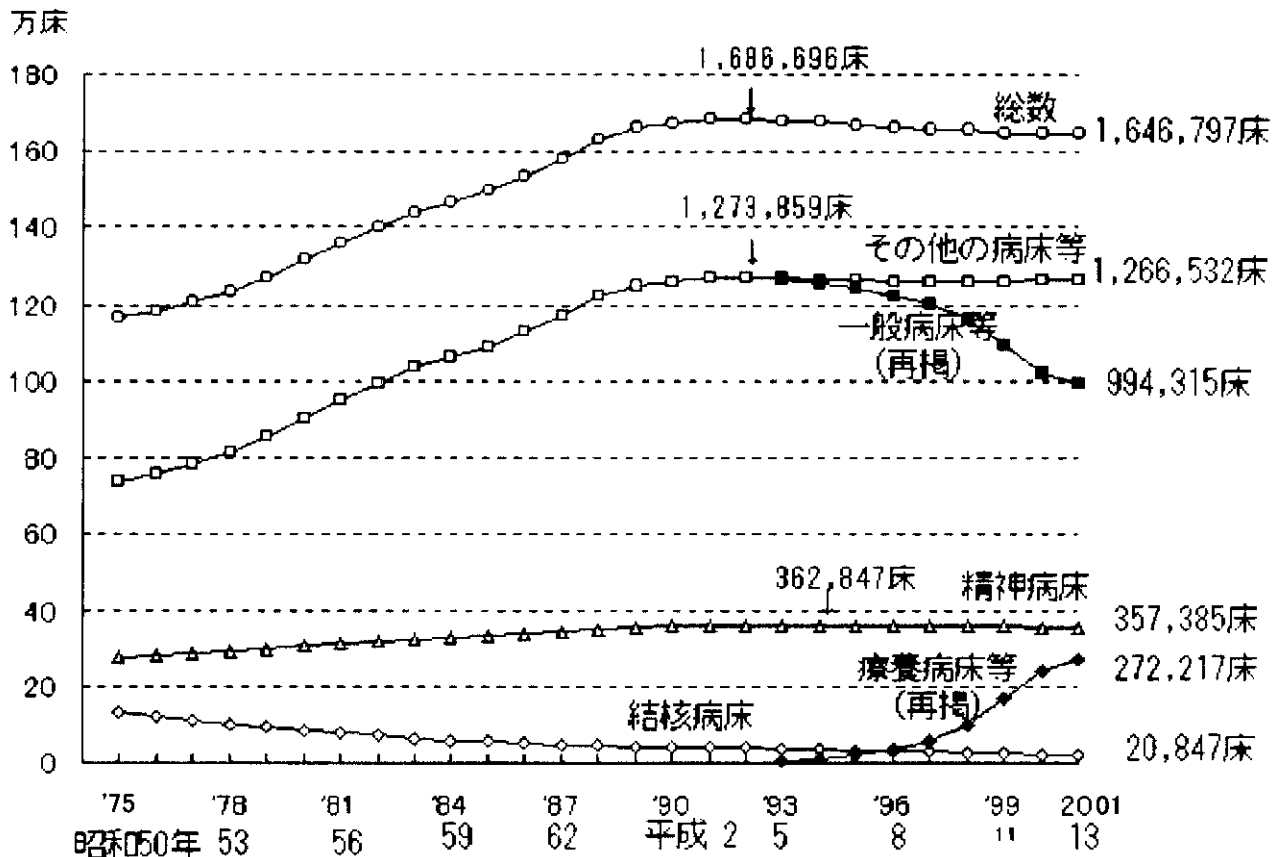
また、病床数については病院数の減少とあいまって、1992年をピークに減少傾向にあるがほぼ横ばいで推移している。

図表 53 病院数の推移



(出所) 厚生労働省「医療施設調査」

図表 54 病院病床数の推移



(出所) 厚生労働省「医療施設調査」

病床数については、とくに急性期病床を中心に減らす方向にある。

次に、もうひとつの変数である外部委託率については、過去の推移ならびに、業界関係者の判断によると、以下のような動向にあるといえる。

図表 55 医療関連サービスの外部委託率の将来動向

業種	現在の外部委託率 (医療関連サービス振興会 2000 年調査)	将来動向	将来動向にかかわる変数
在宅酸素供給装置保守点検	49.4%	+	・入院から在宅への動き ・潜在的患者数の多さ
滅菌消毒	17.0%	+	・必要性の高まり ・病院の経営合理化
病院寝具類洗濯	98.5%	±	・すでに市場としては成熟
患者給食	44.5%	+	・高齢者福祉施設など新たな顧客の拡大 ・経営合理化に伴うアウトソーシングの進展
患者搬送	7.3%	+	・患者による病院選択意識の高まり

			・入院期間の短縮化に伴う搬送頻度の増加
院内清掃	79.8%	+	・院内感染対策としてニーズの高まり
医療用ガス供給設備保守点検	75.6%	±	・需要はほぼ一定
検体検査	95.7%	+	・院内処理されている項目についても委託化の進展 ・検査室のアウトソーシング化の進展
医療機器保守点検	69.8%	+	・保守点検義務化に伴う外部委託の進展
医療事務	39.0%	+	・経営効率化・合理化に伴う外部委託の拡大
医療廃棄物処理	96.8%	+	・有害物質への意識の高まり ・環境への配慮の高まり
患者食宅配	0.5%	+	・慢性疾患の増加・高齢化の進展に伴う利用者の増加

(注) + : 増加、- : 減少、± : 不変

(出所) 現在の外部委託率については医療関連サービス振興会「医療関連サービス実態調査」2000年調査の数値、将来動向及び、将来動向にかかわる変数については業界関係者ヒアリング、既存文献資料などをもとに記述。

このほか、今後の市場規模を推測するにあたって変数となるのが、

- ① 新しい市場である高齢者福祉施設数の動向
- ② 病院の経営合理化に伴うアウトソーシングの進展
- ③ 同、経営合理化に伴う無駄な経費の削減
- ④ 平均在院日数の短縮化による病床稼働率の上昇
- ⑤ 病院から在宅へ移行の動き
- ⑥ 予防・健康増進の促進
- ⑦ 診療報酬点数の動向

などである。

以上の変数をもとに、各業種の5年後（2007年）の市場規模を推計したものが下表である。

図表 56 将来の市場規模予測

業種	現在（2002年）の市場規模 （推計値；億円）	2007年の市場規模 （予測値；億円）
在宅酸素供給装置保守点検	650 ^{（注1）}	690
滅菌消毒	110	120
病院寝具類洗濯	1,400	1,400
患者給食	4,700	5,900
患者搬送	※	増加
院内清掃	800	900
医療用ガス供給設備保守点検	※	横ばい
検体検査	5,000	4,700
医療機器保守点検	400	410
医療事務	1,400	1,700
医療廃棄物処理	数10億円	増加
患者食宅配	※	増加

（注1）在宅酸素供給装置保守点検については、保守点検および装置のレンタル代を含んだ数字である。

（注2）※推計できず

（注3）市場規模予測にあたっては、各業種ごとに以下のとおり設定した。

外部委託率については（財）医療関連サービス振興会の「医療関連サービス実態調査」から過去の年平均伸び率を算出、2000年の最新データを基準に年平均伸び率で伸ばし、2002年を基点とした。なお外部委託率がすでに飽和状態のものについては数値を固定とした。

病床数については厚生労働省の急性期病床を減少させる計画に準じ、急性期・慢性期合わせた総病床数は微減するものとした。

契約単価が診療報酬点数と連動するものについては、一部を除き、現在の点数のまま続いたものと設定し、それ以外の売上の伸びについては、1992～2001年のCPI（消費者物価指数）の年平均伸び率を使用した。また、医療費に占める割合から推定したものについては、医療費の伸びを2002年5月に厚生労働省が発表した「社会保障の給付と負担の見通しについて」の医療費の伸びに合わせた。

なお、病床稼働率については現時点での数値で固定とした。

- ① 在宅酸素供給装置保守点検： 患者数の伸び（微増）
- ② 滅菌消毒： 売上の伸び、外部委託率（微増）
- ③ 病院寝具： 売上の横ばい
- ④ 患者給食： 受託病床数（外部委託率増加）
- ⑤ 患者搬送： 推測できず。業界ヒアリング等により増加の傾向。
- ⑥ 院内清掃： 売上の伸び、受託病院数（外部委託率増加）
- ⑦ 医療用ガス供給設備保守点検： 契約高の横ばい
- ⑧ 検体検査： 医療費の伸び、診療報酬（減少）、外部委託率（増加）
- ⑨ 医療機器保守点検： 売上の微増
- ⑩ 医療事務： 売上の伸び、契約施設数（外部委託率増加）
- ⑪ 医療廃棄物処理： 契約価格適正化の方向にあるため増加傾向
- ⑫ 患者食宅配： 利用食数の伸び（微増）

医療関連サービスの現況と市場動向に関する調査 報告書

平成15年3月

発 行 財団法人 医療関連サービス振興会

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-2 第二麹町ビル4F

電 話 03-3238-1861

FAX 03-3238-1865

調査協力 株式会社 日本総合研究所

製 作 有限会社 アッシュ クリエイティブ ファクトリー

〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10 五條ビル3-B
